

令和4年度 教育活動評価の考察とアクションプランについて

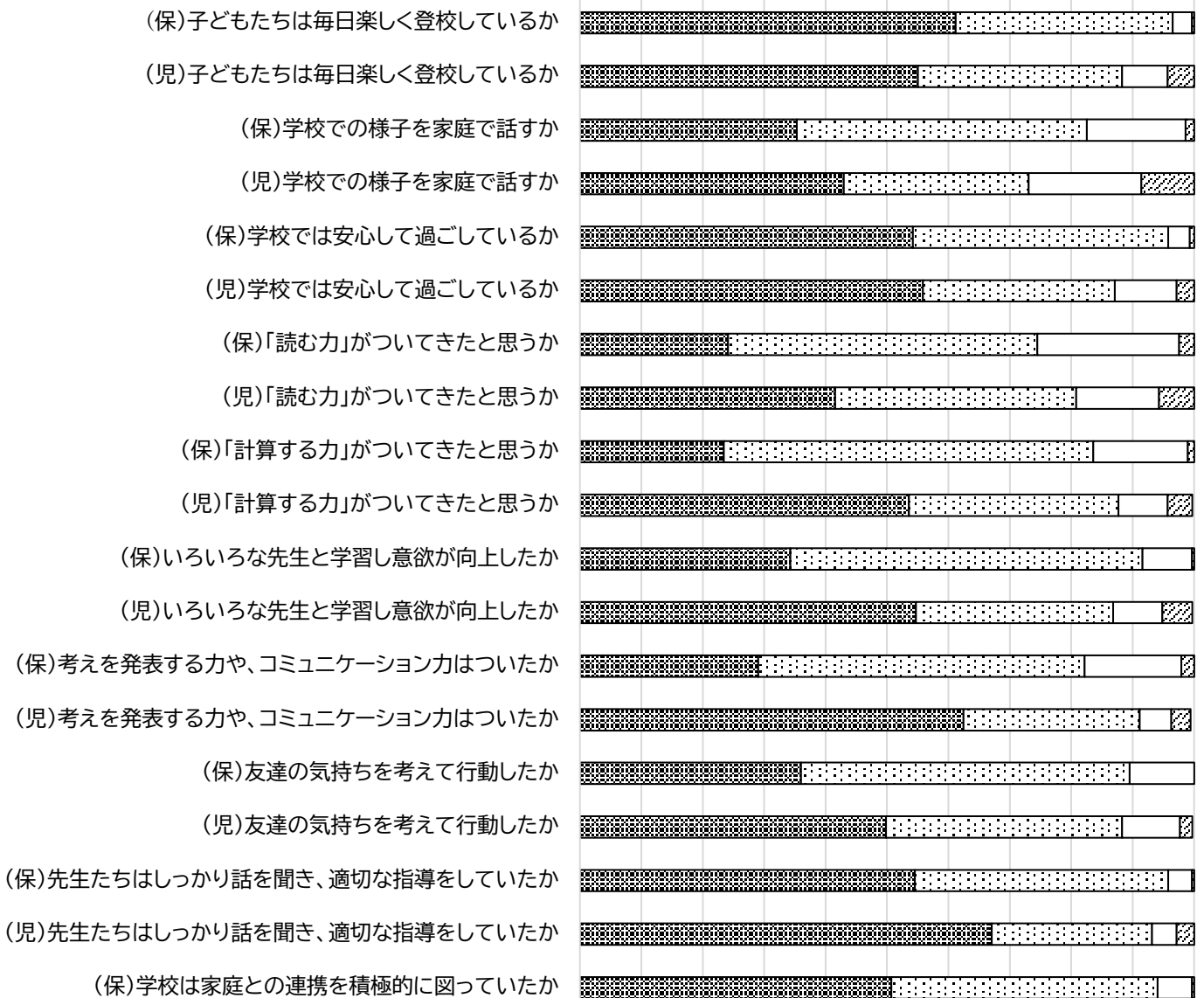
9月に実施しました教育活動評価にご協力いただき、ありがとうございました。

結果を踏まえ、学校全体で、そして学年ごとでもアクションプランを立てながら取り組んでいきます。今回の結果を真摯に受け止め、子どもにとってより楽しいと感じられる、充足感が味わえる、また安心できる教育活動を目指して取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、稲荷台小学校の教育活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

9月 教育活動評価結果

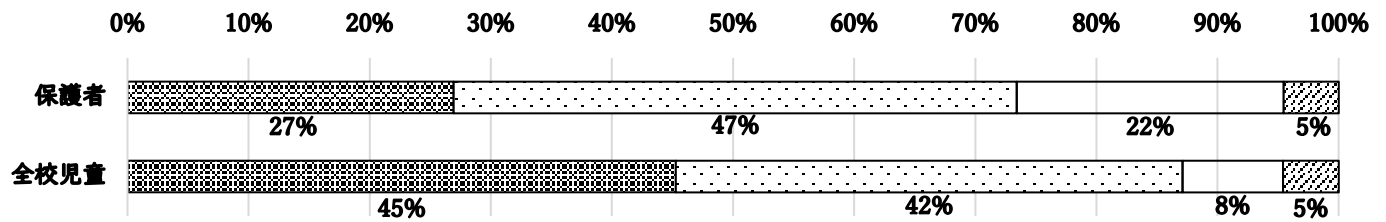
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ よくあてはまる □ だいたいあてはまる □ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

【学力向上アクションプラン】

◎すすんで学習に取り組んでいますか



《グラフから見えてきたこと》

- 「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童が87%と9割に迫っています。学年の発達段階に応じて家庭学習を設定することで、主体的に課題を選び、取り組む習慣が付いてきています。
- 保護者の方の肯定的な回答は、8割を下回りました。家庭学習の習慣が定着していない子もまだ一定数見られます。

アクションプラン

- ・家庭学習の学年に応じた意図を見直し、模範となるノートやプリントを紹介するなどして、家庭学習の方法を定着させたり、自主学習の選択肢を広げたりします。
- ・家庭学習のふり返りを定期的に行うようにし、自分の成長をふり返ったり、友達と励まし合ったりして意欲の向上を図ります。
- ・スキルタイムでスマイルネクスト（ICT教材）を活用し、課題を選んで行ったり成果を蓄積したりしてすすんで学習に取り組む場を設定していきます。
- ・チャレンジタイムの担当教員と担任との連携を密にして、一人ひとりに合った学習環境を整えていきます。

《家庭学習の例》

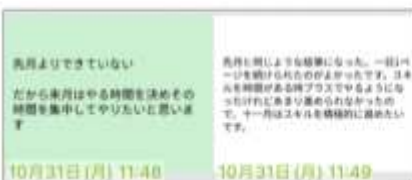
(算数)



(社会)



<家庭学習のふり振り返り>

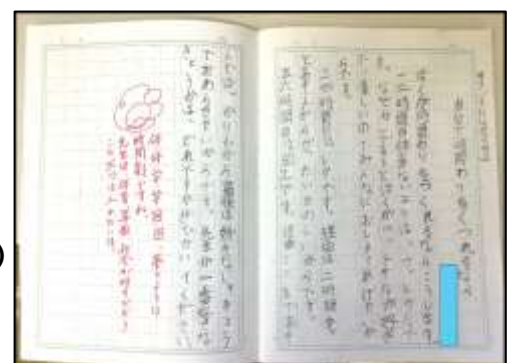


<家庭学習の意図>

高学年 主体的な学び
 中学年 学習内容の定着
 低学年 学習の習慣化

→学年に応じた家庭学習の
 めあての設定・ふり振り返り

(作文)

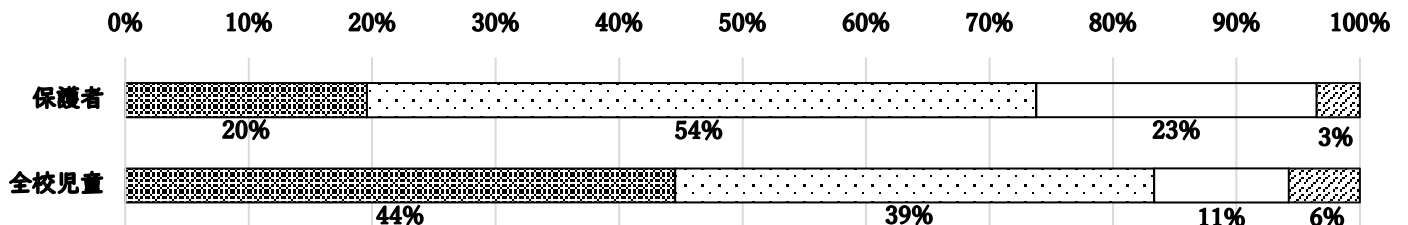


《スマイルネクストとは》

(株)ジャストシステムのご協力のもと、試験的に導入した学習アプリです。個人アカウントを使用して個別に学習を進めます。国・算・社・理・英のドリルができる他、プログラミングやタイピングの練習もあります。前単元、前学年の学習の課題を選ぶこともできるため、個人の習熟度に合わせて学習を進めていくことができます。



◎「書く力」がついてきたと思いますか



《グラフから見えてきたこと》

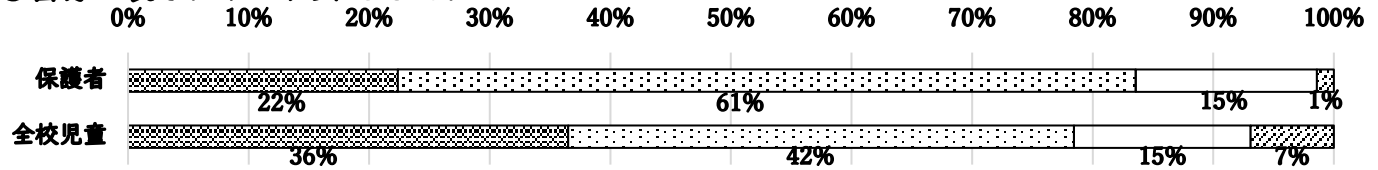
- 「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童が8割を超えています。週末の作文の家庭学習を続けてきたことで、書くことができる文量が増えてきています。
- 「あてはまらない」と回答した児童が6%おり、自分の気持ちを言葉や文で表現することを苦手としている子も見られます。

アクションプラン

- ・タブレット端末のテキストや共有ノート、音声入力機能等を効果的に活用して、字を書くことが苦手な子も自分の気持ちを言葉や文で表現することができるよう支援していきます。
- ・週末の作文や学習のふり返り等で、鉛筆で字を書いて気持ちを表現する機会も大切にします。家庭学習の作文では、話題テーマを設ける、決められた字数で書く、既習の漢字を使うなど課題を設定します。また、学年に応じた表現語彙を紹介するなどして、子どもの表現力を伸ばします。

【豊かな心の育成推進プラン】

◎自分の良さがみつけれましたか



《グラフから見えてきたこと》

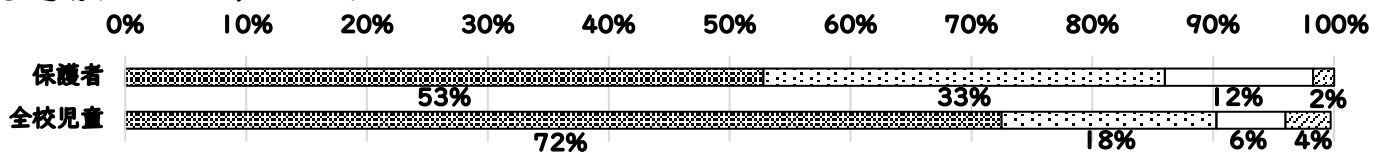
○昨年12月と比較すると「自分のよさを見つけれましたか」に関して、「よくあてはまる」と答えた児童が14%程度増えました。また、保護者の方の回答も、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が2パーセント程度伸びました。自己肯定感を高める活動を学年に応じて継続して行っていることが、少しずつ功を奏してきています。

アクションプラン

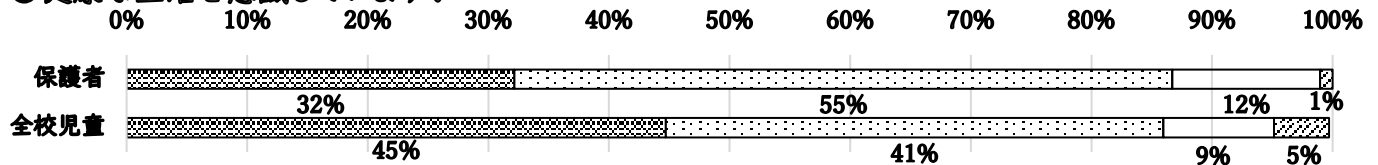
- ・「見つけ合おう・伝え合おう・認め合おう」という学校生活目標に基づいた自己肯定感を高める活動を継続します。(友達からの「いいところみつけ」をもとにした振り返り・きょうのはなまる 等)
- ・2学年でペアを作って活動するバディ活動の充実を図ります。
- ・児童が自分のよさに気付けるよう、教職員は意識して児童のよさを見つけて伝えていきます。
- ・自己肯定感を高める活動について、ねらいや内容を隔月のキッズレポートで紹介します。

【健やかな体の育成プラン】

◎運動することは楽しいですか



◎健康な生活を意識していますか



《グラフから見えてきたこと》

- 児童は運動の楽しさを感じているが、保護者は児童ほど良い評価ではない。放課後は運動の機会が減り、保護者には子どもが運動を楽しむ姿が見えづらいことが一因と考えられる。
- 規則正しい生活が「大体できている」との回答が、保護者・児童共に85%以上と高評価である。今後は、だいたい当てはまると答えた家庭を「あてはまる」となるように取り組んでいく。

アクションプラン

- ・後期に「ミニ体力テスト」を企画し、運動が苦手な児童も春より記録が伸びていることを実感できる機会を作ります。記録を伸ばすために、家庭で取り組める運動を紹介したり、放課後に運動する時間を設けたりします。
- ・「食育タイム」や「いいないいな稲荷台体操」を継続的に取り組み、本校の特色ある健康教育活動に位置づけ、子どもたちも日常的に健康を意識していけるよう働きかけます。
- ・市のスポーツ協会と連携して、後期の学校保健委員会でも体幹を強くする取り組みをすすめます。